

秋のクマに 注意

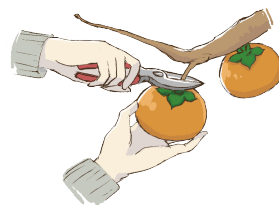


秋は、クマが冬眠に備えて栄養を蓄えるため、ドングリ等の山にある食べ物を一日中探し回ります。ドングリ等が不作の年は、クマが食べ物を求めて人の生活圏に出没し、カキ等を食べることもあるため注意が必要です。

人の生活圏にクマを引き寄せない対策を

① カキ等の果実は収穫し、不要な果樹は伐採を

クマが好むカキやクリ等の果実は放置せず収穫し、不要な果樹は伐採するようにしましょう。廃果も放置せず、回収して処分しましょう。

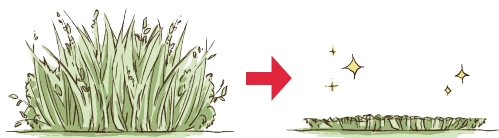


② 生ゴミは収集日の朝出す

クマはニオイにとっても敏感で、生ゴミはクマを引き寄せることがあります。生ゴミは、収集日の朝に出しましょう。漬物、廃油、油性塗料、燃料等のニオイがする物もクマを引き寄せるため、外に置かず建物の中で管理しましょう。

③ ヤブを刈払う

クマはヤブに身を隠しながら人の生活圏に近づきます。地域で協力して、ヤブを刈払いましょう。



❗ クマと出会わないよう下記のことに注意してください ❗

朝夕の行動は避ける



朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

鈴、ラジオ、笛の携帯を



クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避ける傾向があります。笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携行しましょう。

キノコ採りは複数人で



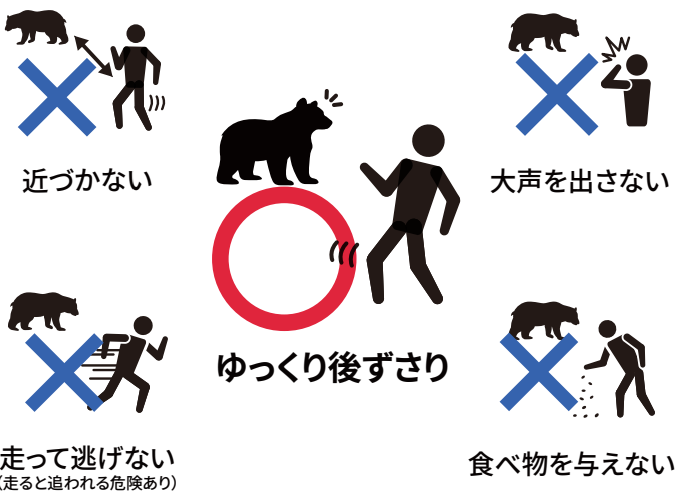
クマはキノコを好んで食べるため、キノコ採りはクマに出会う確率が高くなります。複数人で行動するなど、十分注意しましょう。

食料・生ゴミは必ず持ち帰る



クマは嗅覚が鋭いため、キャンプや登山等では、食料・生ゴミは必ず持ち帰りましょう。人の食べ物の味を覚えたクマは出没を繰り返すようになり、人身被害につながる恐れがあります。

出会ってしまったら



クマが襲ってきたら



うつ伏せで首の後ろに手を組み、防御姿勢をとりましょう（首・顔・腹を守る）。リュックサックは背中を守ることができるため、背負ったままにしましょう。
※この防御姿勢は、致命傷を避け、重傷化を防ぐための最終手段です。クマが立ち去るまで動かずに待ちましょう。

クマを目撃した場合は、
最寄りの市町村役場または**警察**へご連絡ください。

県のホームページのほか、クマ目撃情報マップ「けものおと2」を活用してください。



ツキノワグマ対策
について(長野県HP)



クマ目撃情報マップ
「けものおと2」